

2月2日から始まった小金井市議会2月定例会は、市議会議員選挙が3月下旬に行なわれることから、例年よりも一カ月早い開催となりました。この時期に開催される定例会市議会は、新年度の年間予算が審議されます。新年度予算の内容と、議会質疑で市側が答えた内容によって、今後の市政運営の舵取りが決まっていきます。以下、板倉真也の目見た新年度予算の概要を述べてみます。

人口 11万 851人 / 5万3,211世帯 (2009年1月1日現在)

前年度比で19億3,400万円減の年間予算

2009年度の年間予算(当初予算)は、前年度の年間予算(当初予算)比で19億3,400万円の減(△5.2%)の350億3,700万円。この額はここ5年間では最も低い額となっています。主な理由は、市税収入が減ったことと、市の公共事業が前年度よりも減少したことなどです。

歳入面での特徴点

歳入の根幹を占める市税収入(歳入全体の56.4%)は、前年度比3億5,911万円の減(△1.8%)。なかでも市民税は4億9,870万円の減(△4.3%)、市たばこ税は1億2,100万円の減(△22.9%)となっています。市民税が約5億円も減った最大の理由は、アメリカ発の世界不況によって市民の所得が低下したこと。市たばこ税が大幅に落ち込んだのは、昨今の禁煙の広がりによると考えられます。また、市の公共工事が前年度よりも減少したことにより、国や東京都からの補助金が減り、基金(積立金)からの繰り入れや、新たな借金が前年度よりも減ったことによります。

一般会計当初予算の歳入部分	2008年度	2009年度
国・都からの補助金	86億1,953万円	75億8,854万円
基金(積立金)からの繰り入れ	12億9,505万円	9億7,795万円
借金(起債)	27億6,460万円	26億4,900万円

歳出面での特徴点

武蔵小金井駅南口再開発事業(約3.4ha)が進み、前年度よりも事業費が21億4,702万円も減少。東小金井駅北口区画整理事業(約11ha)は反対に、前年度よりも6億6,898万円のアップとなっています。一方、小中学校の耐震工事は2008年度で完了したことから、教育費は前年度比で10億9,250万円の減少(△23.7%)となりました。

武蔵小金井南口再開発事業		
	2008年度	2009年度
事業費	23億9,995万円	2億5,298万円
国・都補助金	17億2,950万円	9,250万円
借金(起債)	1億60万円	2,000万円
基金の活用	4億円	1億円
市税の投入	1億6,962万円	4,048万円
その他	23万円	0円

東小金井駅北口区画整理事業		
	2008年度	2009年度
事業費	2億3,663万円	9億561万円
国・都補助金	1億1,730万円	3億3,053万円
借金(起債)	1億円	3億7,600万円
基金の活用	0円	1億5,000万円
市税の投入	1,933万円	4,909万円
その他	0円	0円

その他の大きな経費としては、中央線の立体化工事と関連工事経費に15億2,002万円を予算化。市役所を建てるために購入したジャンメ跡地の借金返済に3億7,061万円を、可燃ゴミの三多摩8箇所での焼却処理委託料に7億9,551万円を計上しています。

JR中央線立体化事業負担金	6億36万円	(市負担額は5億6,036万円)
JR中央線の側道整備事業	9億1,966万円	(市負担額は4億5,386万円)
ジャンメ跡地購入費の借金返済	3億7,061万円	(全額市負担)
可燃ゴミの8施設での焼却処理	7億9,551万円/17,000トン	(全額市負担)

[貧困から住民の命・くらし・営業を守る施策]

アメリカ発の金融不況から市民生活と営業を守る施策としては、①中小業者を対象とした小口事業資金融資の保証料を2010年3月末まで全額補助(550万円)。②工事請負事業者向けには、2008年度内に契約を結んで新年度早々にも工事を発注できるように、公共工事の前倒し経費を予算化(8事業・1,445万円)。

緊急雇用対策は新年度予算には含まれていない。2008年度の最終補正予算で、市臨時職員経費として30人分×10日×一日7時間(時給1,000円)を計上(210万円)。ただし、2008年3月の一カ月のみの期間。

新年度予算は通常よりも一カ月早いことから、小金井市は国や東京都の新年度の不況対策事業を組み込むことができませんでした。今後の質疑で、事業を組ませていくことが求められます。

年間財政の推移

2003年度(決算)	312億9,940万円
2004年度(決算)	340億3,821万円
2005年度(決算)	352億6,298万円
2006年度(決算)	366億5,557万円
2007年度(決算)	365億7,535万円
2008年度(予算)	369億7,100万円
2009年度(予算)	350億3,700万円

市税収入の比較(当初予算)

	2008年度	2009年度
市税全体	201億508万円	197億4,597万円
市民税	114億8,596万円	109億8,724万円
固定資産税	63億9,987万円	66億3,105万円
軽自動車税	3,924万円	3,968万円
市たばこ税	5億2,988万円	4億879万円
都市計画税	16億5,012万円	16億7,921万円

市政全体の借金額 [2009年度末見込み]

	返済額	借金残高
一般会計	26億7,551万円	287億1,999万円
下水道会計	3億9,091万円	26億1,702万円
土地開発公社	10億8,937万円	42億1,255万円
合計	41億5,579万円	355億4,956万円

市民一人あたり32万697円

基金(積立金)総額

2008年度末(見込み)	2009年度末(見込み)
50億900万円	43億3,100万円

2009年度に3億円積み立てる一方で、9億7,800万円を取り崩す。